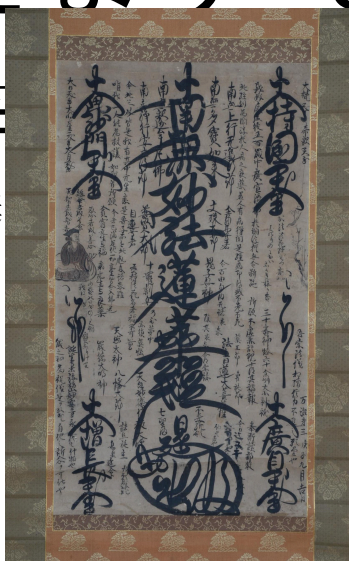


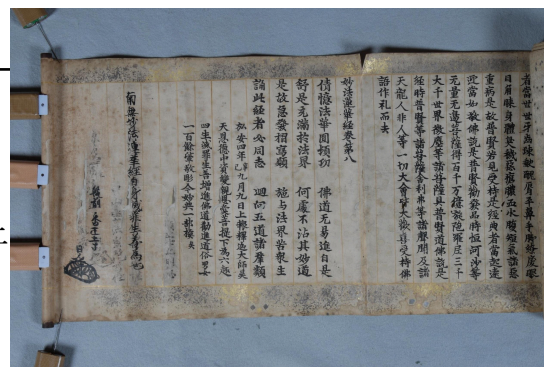
# 妙安寺だより 358



延上  
り  
日延  
本尊



華経1  
尊)・上



## ①復元された聖人像

## ②直筆の曼荼羅ご本尊（鶯の曼荼羅）

平成14年2月に韓国の円光大学の梁銀容教授が、日延上人の足跡をたどり、東京・千葉・京都など日延上人が開かれたお寺を歴訪し、最後に当山に来寺され、上人の御尊顔と対面「このお顔は韓国の李王朝の流れを汲んだ特徴がよく表されている」とされました。

教授は、帰国後に「朝鮮の王子から日本の上人になった」というタイトルで、研究論文を発表。

「日本と韓国は、今まで痛みを持った歴史でしたが、これからは世の中の平和と明るい世界を創るために、日本と韓国の友好親善・文化交流をもって、世界の平和に結びつくように努力をしたい」と感想を述べられました。

また、「妙安寺に安置されている御尊顔に、韓国で御身体を造り、同寺に奉安したい」と申し出があり、日延上人が故国を偲んでいただろうと思われる姿、「合掌の姿での立像」として復元され、平成14年10月韓国の全州市・金山寺で合体式、同年11月当山において入魂式が執り行なわれました。(終)